



協会報

2019

発行日 毎月1日 通算発行 403号

11



今月のトピックス

令和元年度 北陸建設業協会地域懇談会の開催

最近の完成工事から

木場潟公園西園地ライトアップの完成について

石川県南加賀土木総合事務所



石川の工芸シリーズ②

石川県輪島漆芸美術館蔵

沈金箱「花明り」

前史雄【昭和15(1940)年 - 】重要無形文化財保持者(沈金)

制作年 / 平成17(2005)年 サイズ / 縦24.0×横24.0×高さ16.0cm 技法 / 沈金
前史雄は輪島市に生まれ、金沢美術工芸大学で日本画を学んだのち、重要無形文化財保持者の父・大峰に師事し沈金を修得。緻密な沈金技法と意匠力で、自然の描写とともに豊かな情感を表現した作品を得意としている。本作品は蓋の甲面から側面へ広がるように、咲き誇る満開の桜を配したもの。線彫(せんぼり)や点彫(てんぼり)にプラチナ粉を用いた沈金を施している。点彫の粗密で階調を表現し、奥行きと柔らかさを演出している。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL:<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 11

2019



石川の工芸シリーズ②
ちんきんばこ はなあか
沈金箱「花明り」
前 史雄 まえ ふみお

1	今月のトピックス	2
	令和元年度 北陸建設業協会地域懇談会の開催	2
2	最近の完成工事から	
	木場潟公園西園地ライトアップの完成について	
	石川県南加賀土木総合事務所	4
3	平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.10	
	高藤建設工業株式会社	6
4	雇用改善コーナー	
	工業系高校生(石川県立翠星高等学校)現場見学感想文	8
5	2019年度第2回 建設業景況調査(石川県版)	
	東日本建設業保証(株)石川支店	10
6	地区協会コーナー	
	旅行会社と連携した魅力発信の取り組み ~羽咋市~	
	(一社)羽咋都市建設業協会	11
7	会員リレーコーナー	
	191 株式会社山田組	12
8	今月の「輝き!」さん No.56	
	株式会社 里谷組 里谷光蔵さん	13
9	協会だより	
	常任理事会の開催	14
	千曲川緊急復旧工事に伴う災害支援活動を実施	14
	(一社)石川県建設業協会 第41回懇親ゴルフ大会の開催	15
	女性職員対象の現場見学会の開催	16
	石川県土木部防災訓練への参加	16
	委員会の開催	17
	土木委員会	
	工事現地検討会班長会議(前期)の開催	17
	役員会の開催	17
	建築委員会	
	研修会の開催	18
	加賀地域合同建築委員会の開催	18
	能登地域合同建築委員会の開催	19
	環境・住宅部会研修会の開催	19
	土地改良委員会	
	第2回技術検討部会の開催	20
	第2回役員会の開催	20
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	20
	建設青年委員会	
	いしかわのこどもみらいキャンペーン「はだしの王国」に参加	21
	雇用対策特別委員会	
	現場見学会の開催(金沢工業大学)	21
	建設技術研修所	
	「建設業経営講習会」の開催	21
	「登録解体工事講習会」の開催	22
10	石川県建設産業連合会だより	
	石川県建設生産システム合理化推進会議の開催	22
11	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCMセミナーの開催	22
12	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	令和元年度「高校生の作文コンクール」入選作品の紹介 佳作賞	
	「建設業への道」石川県立羽咋工業高等学校 建設造形科 2年 前田優希	23
13	業界時報	
	労働災害発生状況	24
	令和元年度 建設工事受注高調(元請)	24
14	会員消息	25
15	県協会からのお知らせ	25
16	地区協会からのお知らせ	26
17	関係機関からのお知らせ	26

◆ 今月のトピックス ◆

令和元年度 北陸建設業協会地域懇談会の開催

令和元年度の北陸建設業協会地域懇談会は、10月23日(水)午後2時30分から富山市のホテルグランテラス富山において、国土交通省、(一社)全国建設業協会、富山県、石川県、新潟県、長野県の建設業協会の関係者69名が参加し開催された。今回の懇談会から、(一社)新潟県建設業協会が正会員となったほか、(一社)長野県建設業協会がオブザーバーとして参加した。

会議の冒頭、開催県である(一社)富山県建設業協会の竹内 茂会長が挨拶で、「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策の実施により、令和元年度の公共事業予算は大幅な増額となり、公共工事の設計労務単価も7年連続で増額となる等、業界には追い風の状況となっているが、事業量の地域間、企業間格差がより一層拡大しており、地方においては、依然として厳しい環境に置かれている建設企業が少なくない。今後も、公共事業予算の持続的・安定的確保をお願いしたい。」と訴えた。続いて

国土交通省土地・建設産業局建設業課長	高橋謙司
国土交通省大臣官房技術調査課建設技術調整室長	和田 卓
(一社)全国建設業協会会長	近藤晴貞

の各氏が挨拶を行い、(一社)全国建設業協会山崎篤男専務理事の司会で、国土交通省、(一社)全国建設業協会、北陸建設業協会から提出された次の議題で意見交換を行った。



【国土交通省提出議題】

「新・担い手3法」を受けた取組の着実な推進と中長期的な担い手の確保・育成
意見交換テーマ

1. 改正品確法をはじめ、「新・担い手3法」を踏まえた取組の推進
2. i-Construction「貫徹」に向けた生産性向上の取組等
3. 建設キャリアアップシステムの普及等

【全国建設業協会提出議題】

地域の防災と活力を担う魅力ある地域建設業を目指して
意見交換テーマ

1. 経営の安定化
2. 災害対応等
3. 担い手確保(働き方改革、生産性向上)他

【北陸建設業協会提出議題】

1. 公共事業予算の持続的・安定的確保について(富山県協会)
2. 低入札価格調査基準の見直しについて(富山県協会)
3. 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の指導徹底について(石川県協会)
4. 担い手確保に向けた週休2日制実現への環境整備について(石川県協会)
5. インフラ長寿化対策を含め防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進について(石川県協会)
6. 監理技術者の専任義務の緩和について(新潟県協会)
7. 災害対応に係る時間外労働規制の適用除外の手続きについて(新潟県協会)
8. 除雪事業に係る時間外労働規制の適用除外について(新潟県協会)

当県の小倉 淳会長は意見交換で、議題となった新・担い手3法を踏まえた取組では、「市町レベルでは、運用指針の浸透が不十分となっている。建設業界が“地域の守り手”として持続的に地域を支えるため適正な利益が確保できるよう、ブロック発注者協議会を通じて市町に対する運用指針の徹底をお願いする。」また、建設キャリアアップシステムの普及等では、「建設キャリアアップシステムは、技能労働者の能力、経験を適切に評価し、給与引き上げなど処遇改善により、建設業全体としても、若者の入職促進、将来の担い手確保につながることを期待されている。しかしながら、本県における登録は低調で、その理由として登録するメリットよりも情報流出による引き抜きなどのデメリットを危惧する意見が多く聞かれる。このため、引き抜きの規制措置を講ずる法令改正なども必要と考える。」などの意見を述べた。

地域懇談会の各機関・団体の出席メンバーについては次の通り。

国土交通省

土地・建設産業局 建設業課長	高橋 謙司
大臣官房 技術調査課 建設技術調整室長	和田 卓
土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室長	藤條 聡
北陸地方整備局 局長	吉岡 幹夫
北陸地方整備局 総務部長	藤原 啓志
北陸地方整備局 建政部長	佐藤 研一
北陸地方整備局 技術調整管理官	山本 悟
北陸地方整備局 企画部 技術管理課長	村上 和久
北陸地方整備局 建政部 建設産業調整官	山口 幸儀
北陸地方整備局 建政部 建設業適正契約推進官	石川 孝行
北陸地方整備局 富山河川国道事務所長	石井 宏幸

(一社)全国建設業協会

会長	近藤 晴貞
専務理事	山崎 篤男
常務理事	若山 勝行
常任参与	土屋 良直
技術顧問	牧角 修
総務部次長	関澤健太郎
事業部事業第一課長	平井 武士
労働部労働課長	宇都宮卓哉

(一社)富山県建設業協会

会長	竹内 茂
副会長	山本 隆
副会長	高田 均
以下21名	

(一社)石川県建設業協会

会長	小倉 淳
副会長	平櫻 保
副会長	江口 介一
副会長	鶴山 庄市
以下22名	

(一社)新潟県建設業協会

会長	植木 義明
副会長	藤田 直也
副会長	大石 保男
以下5名	

(一社)長野県建設業協会(オブザーバー)

副会長	依田 幸光
専務理事	小林 康成

最近の完成工事から

木場潟公園西園地ライトアップの完成について

石川県南加賀土木総合事務所

1 概要

木場潟公園は、県内で唯一自然のままの姿が残された潟を保全するとともに、雄大な白山の眺望を楽しむことができる水郷公園として、昭和47年度から県が整備を進めている都市公園です。現在、拠点となる4つの園地（中央、南、西、北）と、一周6.4kmの潟周遊園路を供用しており、年間約70万人の方々に利用されています。その木場潟公園の西園地で、本年10月より、新たにライトアップが始まりました。



図 - 1 位置図



図 - 2 木場潟公園平面図

2 木場潟公園西園地におけるライトアップ整備

県では、平成27年5月に開催された全国植樹祭にあわせ、木場潟公園西園地に白山眺望の拠点となる展望休憩所を整備しています。また、平成29年10月には展望休憩所の隣接地に公募により設置したカフェレストランLAGO BIANCO（ラーゴビアンコ）がオープンしました。カフェレストランは21時まで営業しており、昼間だけでなく夜間の利用も進んでいます。

このような状況の中、令和5年春の北陸新幹線県内全線開業を見据え、木場潟公園の新たな魅力となる夜間景観を創出し、南加賀地域の観光交流拠点とするため、今回、西園地においてライトアップの整備を行うこととしました。



写真 - 1 木場潟公園西園地

3 ライトアップの内容

今回実施するライトアップは、芝生を木場潟に見立てて、湖面の様々な表情を光で表現するとともに、それを取り囲むように湖岸のヨシや樹木（サクラ等）をライトアップし、木場潟の風景をイメージできる照明演出を行っています。また、園路の散策を楽しめるようフットライトを設置しました。



写真 - 2 ライトアップ全景

芝生への光の演出

芝生広場を湖面に見立てるため、高さ12mの位置にプロジェクターを設置しました。演出内容としては、木場潟を彩る青（湖面）、白（白山）、緑（木々の緑）、紫（菖蒲）の4色を5分ごとに切り替え、さらに各色にかぶせる様に「ゆらめく湖面」、「風にそよぐ湖面」、「きらめく湖面」という異なる動きのパターン（模様）をのせることで、木場潟の移り変わる様々な表情を演出しています。



写真 - 3 プロジェクター



写真 - 4 芝生への光の演出パターン

ヨシ、樹木（サクラ等）のライトアップ

光で演出した潟を取り囲む「ヨシ、樹木（サクラ等）」をライトアップするために、投光器の整備を行いました。



写真 - 5 ヨシのライトアップと投光器（防水型）



写真 - 6 樹木（サクラ等）のライトアップと投光器

4 おわりに

ライトアップの開始日である令和元年10月19日には、知事や地元関係者が出席した点灯式を行いました。

ライトアップは、通年、日没から21時まで点灯することとしており、これにあわせて展望休憩所も開館しています。今回のライトアップ開始により、カフェレストランとともに、木場潟公園西園地で新たな夜間利用の機会が生まれ、多くの利用者に木場潟公園の魅力を感じていただけたと考えています。皆様もぜひ、一度足を運んでみてください。

平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.10

施工企業名：高藤建設工業株式会社

工事名 都市計画道路粟津街なか線街路整備工事
(防災・安全)(改良工その4)

工事分野 道路改良工事

施工場所 小松市粟津町

工事概要

施工延長 L=122m

自然石ブロック張工 A=696m²

排水構造物工 L=200.9m

消雪配管工 L=138m

工期 平成29年3月27日～平成30年2月28日

推薦理由

本工事は、小松市の観光地である粟津温泉街における街路の修景工事である。

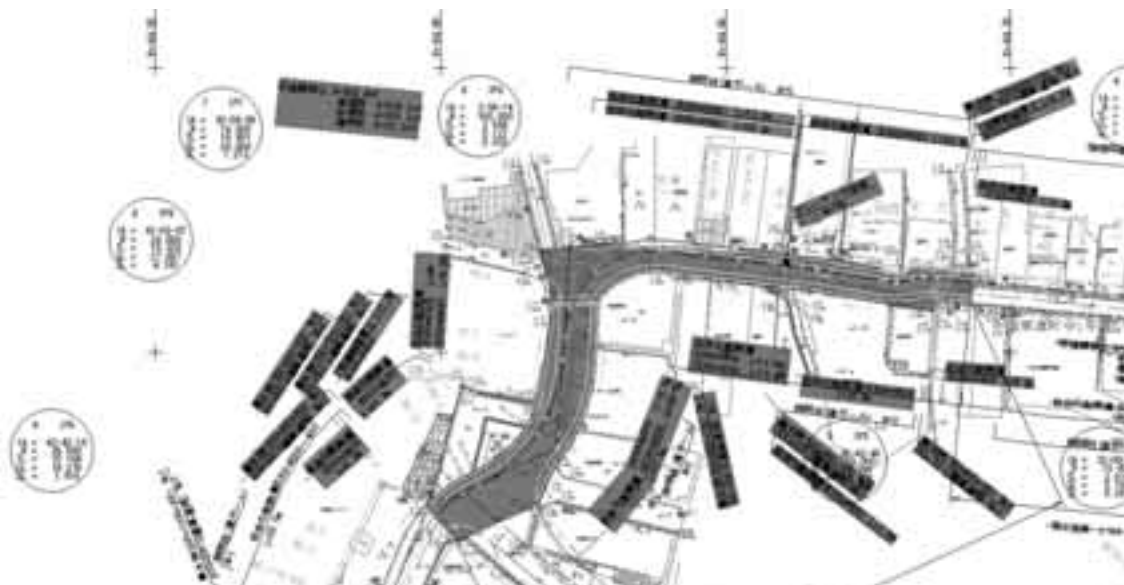
工事区間の沿線には、商店や旅館が多いことから施工時間調整を十分に行い、営業に支障を与えることなく、工事を円滑に進めていた。特に旅館前での施工については、宿泊客の出入りに支障が無いよう、平日の10時から15時まで(繁忙期は11時から14時)と限られた施工時間の中で、工期内に工事を終えるなど適切な工程管理が行われていた。また、道路が狭く人家が連担していることから、振動や騒音に配慮すると共に、観光客や通学する児童に対しても交通安全に努めるなど、事故もなく良好な出来栄で工事を完了した。



着手前



完成写真



計画平面図

夜間、歩行者の事故防止のため開口部・段差を一切なくし日々解放した。



1日にできる施工量から計画・割付けし、品質を低下させることなく各工種の一連の作業を時間厳守で施工実施。



掘削作業から上下層路盤工・仮復旧工まで限られた時間の中で日々実施し、段差等をなくした。

現場代理人のコメント



現場代理人
彦素哲也氏

この度は、平成30年度優良建設工事知事表彰を受賞させて頂き、誠にありがとうございます。また、ご指導頂きました南加賀土木事務所の皆様、ご協力頂きました地元粟津温泉の皆様並びに工事関係者の皆様には心より感謝、御礼申し上げます。

この工事は温泉街での施工ということもあり夜間、歩行者の安全確保にも留意する必要がありました。そこで日々の施工終了時は開口部・段差等を一切なくすことで、足元の安全確保を徹底しました。

また、地元配慮し土・日・休日・大型連休とその前後の繁忙期を休工とし、施工時間が10時から15時と限られたなかでの施工を実施しました。1日にできる施工量から、各工種の割付けを計画し施工順序、施工時期を地元と調整を行いながら、日々計画を見直しその状況に応じた施工を実施しました。1日当りの施工量が減少することで地元には、長い期間ご迷惑をかけることとなりましたが、ご理解を頂け無事工事を終えることができました。

最後に、これからも地元にご貢献できるよう頑張っていきたいと思っておりますのでご指導宜しくお願いします。

雇用改善コーナー

工業系高校生（石川県立翠星高等学校）現場見学感想文

『沢山のことを学びました。』

総合グリーン科学科 3年 宮川大晟

今回の現場見学で学んだことが沢山ありました。白山市別宮の県営ほ場整備事業の現場では、見たことのない建設機械が沢山あってびっくりしました。自分も将来、あんなカッコいい機械を運転してみたいと思いました。現場は、いくつかの田んぼを一つにする工事でしたが、機械を上手く運転できるようになるには相当の時間がかかると聞いてやっぱり作業員の方はすごいと思いました。次に、小松市の梯川の浚渫工事現場に行きました。ここでは見えない川の中の砂や泥をとるのにタブレットを見ながら機械を操作しており、また、ドローンの操縦も上手ですごかったです。今回の現場見学で色々学べたのでとてもよかったです。

『建設現場の最新技術に感心しました。』

総合グリーン科学科 3年 池田優兼

白山市別宮の県営ほ場整備事業の現場では、土の質が悪く農業ができていないので、改良して農業ができる範囲を拡大する工事であると説明がありました。機械で土をならす作業は簡単そうに見えましたが、ベテランじゃないと難しいということでした。また、現場ではドローンも使用しており、建設業界は最新技術を真っ先に取り入れる業界なんだと感心しました。小松市の梯川の浚渫工事現場では、ICT施工をまじかに見ることができ、とても便利そうに思いました。建設業は、造ったものが一生残るやりがいのある仕事なので、自分も建設業に就くことになったら頑張ろうと思いました。

『発見と驚きの連続でした。』

総合グリーン科学科 3年 重光大広

今回の現場見学は、自分にとって発見と驚きの連続でした。白山市別宮の県営ほ場整備の現場では、基礎の造成だけではなく道路の確保や地中に排水パイプを埋めるなど、色々な工事をしていて驚きました。レーザーレベルを使用し、土地の高さの誤差が2ミリ以内であると聞きすごいことだと思いました。小松市の梯川の浚渫工事現場では、ICTの活用が想像以上に進んでいて驚きました。土木事業も力仕事だけではなく、ICTの活用が想像以上に進んでいて驚きました。土木事業も力仕事だけではなく、ICTの活用が想像以上に進んでいて驚きました。機械が自動で作業を終わらせる時代が来るのもそう遠くないと思いました。

『実際の工事現場を見学できて良かったです。』

総合グリーン科学科 3年 油野友瑠

今回の現場見学で実際の工事現場でやっていることを見ることができたことは、自分の将来にも関わってくることでとても良かったです。昔、手作業で行っていた測量もICT技術によりとても簡単な仕事になっていました。ドローンを使って上空から撮影している様子も見せて頂きました。重機による川の浚渫やタブレットを使った斜面の測量も見ることができました。僕は、将来、道路舗装関係の仕事に就きたいと思っていますが、今回の現場見学を活かして頑張ろうと思います。



『ICTの導入は革命的なものだと思いました。』

総合グリーン科学科 3年 宮川昂大

白山市別宮の県営ほ場整備事業の現場に行きました。バックホウや不整地運搬車などの大型建設機械を見ることができました。ほ場整備工事でも最近では技術が向上し、昔と比べて楽になったと聞きました。若手も技術者も少なくなっていく中で、最新の技術を取り入れていくことは必要なことだと思いました。小松市の梯川の浚渫工事現場では、ICT施工で3次元マシンコントロールが行われていてICTの導入は革命的なものだと思いました。今回の現場見学で、熟練の作業員の技術やICT施工などの最新の技術を見ることができてとても勉強になりました。

『建設業はやりがいのある仕事であることが分かりました。』

総合グリーン科学科 3年 土田悠斗

小松市の梯川の浚渫工事現場を見学しました。ショベルカー等最先端のICT建機を使用した現場であることが分かりました。タブレットに地形や角度等が表示されており、それに合わせて自動で動いたり止まったりしていました。ドローンを使った測量では、高精度な3次元測量を1日で可能にすることも知りました。そして、施工中もリアルタイムで進捗状況を管理することが可能になったことも知りました。改めて、建設業はやりがいのある仕事であることが分かりました。



『ICT建機を駆使した工事現場を見学しました。』

総合グリーン科学科 3年 松本隼汰

ICT建機を駆使した工事現場を見学しました。専門的な話は少し難しかったのですが、実際に工事をしているところを見て何となく分かりました。ドローンやタブレットと連動した建設機械を使った工事を見ることができました。白山市別宮の県営ほ場整備の現場では、レーザーレベルやドローンを使用していました。小松市の梯川の浚渫工事現場では、タブレットと連動したショベルカーで作業をしていました。ICT建機の導入で、より早くより正確な作業ができるのではないかと考えています。

『ICTが人手不足と作業効率を補っていることが分かりました。』

総合グリーン科学科 3年 高嶋悠矢

白山市別宮の県営ほ場整備の現場では、複雑な形をしたいいくつかの水田を、農家の人たちがより効率よく仕事ができるように二つの大きな水田にしていました。ドローンや様々な機械を使っただけの作業は、1ミリの誤差も許されない大変な作業で、何十年もやっている作業員の方はとても苦労していると思いました。小松市の梯川河川改修工事現場はICTを活用した現場で、川の氾濫を防ぐために河道の拡幅や掘削を進めているそうです。最新の技術が人手不足と作業効率を補っていることが分かりました。



2019年度第2回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証（株）石川支店

< 概要 >

資材の価格は、「上昇」傾向が弱まっている。
来期は、「上昇」傾向がやや強まる見通し。

建設労働者の賃金は、「上昇」傾向が弱まっている。
来期は、「上昇」傾向が続く見通し。

【今期：前期（2019年4～6月）に比べた今期（2019年7～9月）の状況】

【来期：今期（2019年7～9月）に比べた来期（2019年10～12月）の状況】

項 目	前期	今期		来期		
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業況等	地元建設業界の景気	3.0	↘	3.5	↘	14.0
(2)受注	受注総額	4.5	↘	6.5	↘	18.0
	官公庁工事	4.0	↘	11.0	↘	17.5
	民間工事	5.5	↘	7.0	↘	15.0
(3)資材	資材の調達	9.0	↗	4.5	↗	3.0
	資材の価格	27.0	↘	18.0	↗	22.5
(4)労務	建設労働者の確保	26.5	↗	22.5	↘	24.5
	建設労働者の賃金	24.0	↘	16.5	↘	15.0
(5)収益		8.5	↗	7.5	↘	15.0

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
・表中の印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」と回答した企業割合} - \text{「悪い」と回答した企業割合}) \times 1/2}{\text{「変わらず」は除いて計算}}$$

お問い合わせ先

東日本建設業保証（株）石川支店 TEL:076 242 1231

地区協会コーナー

旅行会社と連携した魅力発信の取り組み ～ 羽咋市～

(一社)羽咋郡市建設業協会

羽咋市では本年2月28日、株式会社日本旅行との間で、相互が協力し、それぞれが有する人的・物的資源を活用・連携して羽咋市の魅力を発信し、観光振興や移住定住をはじめとする地域の活性化等に資することを目的に、「羽咋への新しいひとの流れをつくる」に係る「包括連携協定」を締結し、その実現に向け共同で取り組みを進めています。



山辺芳宣市長と握手する
(株)日本旅行 堀坂明弘社長

羽咋市は人口減少の抑制と少子高齢化社会に対応し、「しごと」「ひと」「まち」の好循環を生み出すため、「羽咋市人口ビジョン」及び「羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略(がんばる羽咋創生総合戦略)」を平成27年10月に策定し、基本目標のひとつに「羽咋への新しいひとの流れをつくる」を掲げて、日本で唯一、砂浜を車で走行できる「千里浜なぎさドライブウェイ」や、県内では、金沢市に次いで多い重要文化財(建造物)などの地域資源を活用し、「羽咋らしい」魅力あふれる観光地域づくりを進めています。

羽咋市が日本旅行と連携協定を結ぶことになったのは、昨年12月に羽咋市への定住促進と少子化対策の一環として、JR七尾線の羽咋 金沢間に貸し切り列車を走らせて「Happyトレイン in 羽咋」と称する婚活イベントを日本旅行の協力のもと開催したことが始まりで、日本旅行においても、より良い地域振興に貢献するための「地方創生本部」を設けており、相互の取り組みの方向性が一致し、今回、全国の市町村で初の試みとなる協定締結が実現したと言うことです。

取り組みの現状と今後の計画

Happyトレイン in 羽咋の開催

中学生海外派遣事前視察

国内旅行ブランド「赤い風船」に羽咋市の

特集記事掲載

日本旅行Tis大阪支店で観光PRの開催

第5回峨山道トレイルランのサポート

九州茶道協会と交流茶会(妙成寺)

婚活イベントの開催



Happyトレイン in 羽咋



Tis大阪支店で開催された観光PRの様子
R1.9.29

羽咋市では今後も日本旅行と協力のもと国内外に地域の魅力を発信し、観光素材を磨き上げ、交流人口の拡大を図ることとしており、様々なイベントを展開していくとのことです。

(資料提供：羽咋市産業建設部商工観光課)

会員リレーコーナー

191 株式会社山田組
(所在地：石川県河北郡津幡町字横浜133-1)



株式会社 山田組

社 章

弊社は、昭和27年私の祖父が中古のダンプを購入し、手取川の砂利運搬を商いとして始めたのを機に、昭和38年に山田組（建設業登録）昭和53年に株式会社山田組（株式取得）として現在に至っております。

取引先は、県央土木・県央農林・津幡町などを主として、一般土木工事を請け負っております。近年では、時代の流れと共に公共工事だけに軸足を置くのではなく、民間工事の受注にも力を注いでおります。

経営理念

- ・ 当社は誠実さと技術力（品質・安全・ローコスト）をモットーに仕事を行い、お客様並びに当社と関係のある方々との信頼関係の確立を目指します。
- 又、時代の流れに即応出来る企業態勢を作り継続的な発展に努めます。

でおります。

民間工事を受注するにあたり、公共工事の一般競争入札、指名競争入札のそれとは違い、一度お付き合いをさせていただいた民間のお客様には、また当社をリピートして頂ける様に信頼関係を構築するべく会社一丸となって日々励んでおります。

当社の最近の課題としては、建設業界全般にもいえることですが、とにかく人手不足です。新卒者に話を聞くと就職先を選ぶうえで、給料や未来への希望などはもちろんですが、一番重要なのが年間休日、ゆとりのある職場選びを優先している傾向があるようです。建設業界を支える人材の確保、育成に向けた働き方改革への対処が必要になってきています。当社も就業規則の見直しなども視野に入れて、今後働きやすい職場環境作りに努めてまいりたいと思っております。

また、地球規模での温暖化に伴い最近では大雪や台風、局所的な豪雨など自然災害が多発している中で、我々建設業者の地域にもたらす役割が、ますます重要になりつつあります。令和という新たな時代をむかえ「地域の守り手」として成長していける様に、今後も努力し続けてまいりたいと思っております。

今回は株式会社堀田建設 代表取締役 堀田建悟さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願ひします。

(株式会社山田組 代表取締役 山田 希)

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

今月の「輝き！」さん

No. 56



株式会社 里谷組 里谷光蔵さん

業 種：営業企画

年 齢：38歳

今月は、輪島市の(株)里谷組に里谷光蔵さんを訪ねてインタビューしました。

1. 会社の概要は

里谷組は大正10年創設の歴史ある会社で、現在従業員34名(技術者11名)の奥能登地区の中核的な総合建設会社です。事業としては概ね土木7建築3の比率で、土木工事が主体です。

また、本業の建設業以外にも里谷グループとしてソフトサービス事業も展開しています。

2. 本人の経歴等

私は38歳で主に営業の仕事をしています。1週間に1~2回お役所周りをしています。会社の仕事以外に商工会議所の青年部会長の仕事が忙しく県外にも出張の機会があります。

グループ会社ではIT関連の仕事もしており、異業種の人とのお付き合いも多いです。一方で、建設関係の若い者同士お話しする機会が少なく、協会の方で気軽に話し合えるような場を作ってもらえれば有難いと思います。

3. 仕事で楽しいことややりがいを感じたこと

地元で使う道路や河川、港は自分らで造り維持管理していくのが当たり前だと思います。だから、災害復旧や除雪は当然のこと、地域のお祭りやイベントで会場設営などの地域ボランティア活動も積極的に行っています。このような活動を通じ地域に貢献できていることでやりがいや達成感を感じています。また、そのことが建設業に対する市民の理解・協力にもつながっていると思います。

4. 将来の目標、夢、抱負など

最近、働き方改革で新3Kをよく耳にするが、これを実現するには、まず自分が仕事も頑張り余暇も楽しんで明るい職場(現場)づくりを率先して行うことが1番だと考えています。

商工会議所青年部の人脈で県外の仲間も多く、友人の会社では人脈を通じて県外への事業展開も行っています。また、最近では工事現場の状況をSNSやフェイスブックで発信している時代であり、ITツールを使って異業種展開を行っている会社もあり、私も将来的にはこれまでの地元密着型の事業と県外への広域展開も出来れば良いなと考えています。

5. 余暇の過ごし方、趣味

中学、高校時代は野球をしていました。現在会社は4週6休で、休みの日には地元のソフトボールチームで汗を流しています。最近はやい仲間同士でゴルフをすることが1番楽しいです。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)の常任理事会は、10月3日(木)午後2時から、石川県建設総合センター特別会議室において開催された。

会議に先立ち、「働き方改革」に関する講演が行われた。講演では、山岸小百合石川県男女共同参画課長の挨拶に続き、丸谷めぐみNPO法人ワークライフバランス北陸理事長、オフィスラックマインド代表から「無意識の思い込みや偏見から働き方を考える ~女性がイキイキと働ける職場づくり~」と題してお話をいただいた。丸谷氏は、「働き方改革や女性活躍を阻む最大の抵抗勢力は、社員や職場の中にある「無意識の偏見」かもしれない。多様性を進め組織として持てる力を最大限発揮してパフォーマンスを向上させるには深いレベルでの意識改革が必要。」と述べられた。

続いて常任理事会が開催され、冒頭、小倉会長の挨拶に続き、事務局から下記の議題について報告・説明がなされた。

1. 石川県9月補正予算について
2. 退会者について
3. 台風15号に関連する千葉県への資材支援について
4. 豚コレラ対策について
5. 北陸建設業協会地域懇談会について
6. 令和元年度地震・津波を想定した県土木部防災訓練について
7. 建設業をめぐる最近の話題について
8. 会員受注高調べについて
9. 今後の主な日程について
10. 地区協会からの報告について
11. その他



講演



常任理事会

千曲川緊急復旧工事に伴う災害支援活動を実施

台風19号の記録的な大雨の影響で、10月12日(土) 長野県長野市と上田市で堤防の決壊や水が堤防を乗り越える越水、堤防欠損等により千曲川が氾濫したほか、各県でも河川が氾濫した。これらの被災箇所の緊急復旧を実施するため、16日(水)午後、北陸地方整備局災害対策本部から石川県建設業協会に「千曲川緊急復旧工事に伴うダンプトラックの災害支援活動要請」があり、石川県建設業協会は金沢建設輸送協会に被災地へのダンプトラックの派遣協力を求めた。これを受け、金沢建設輸送協会は必要台数(12台:11社)を確保し、17日(木)夜には金沢トラックステーションに石川県建設業協会役員、金沢建設輸送協会役員及び運転手等の関係者が集合し出発式を行った後、活動場所に向けて出発。18日(金)~21日(月)までの4日間、長野県上田市諏訪形地先において、千曲川堤防の緊急復旧に用いる大型ブロックの運搬などに取り組んだ。



出発式(集合写真)



支援要請箇所(長野県上田市)

(一社)石川県建設業協会 第41回懇親ゴルフ大会の開催

令和元年度(一社)石川県建設業協会第41回ゴルフ大会は、10月7日(月) 加賀市新保町の片山津ゴルフ倶楽部(加賀コース)において開催された。

当日は、県内各地域から94名のプレイヤーが参加し、晴天のすがすがしい秋空のもと白熱のプレイを展開した。

プレイ終了後は、クラブハウス内で成績発表・表彰伝達が行われ、引き続き小倉 淳協会長の挨拶で懇親会が開催された。懇親会参加者は和気あいのうちに相互の親睦を深め、平櫻 保協会副会長のメの挨拶で閉会となった。大会成績は次の通り。



大会スタートの協会役員

大会成績

			グロス	ハンデ	ネット
一般の部	優勝	坂井 繁(盛進工業)	85	15.6	69.4
	2位	橋本 和宏(兼六建設)	86	15.6	70.4
	3位	寺井 誠(寺井建設)	92	20.4	71.6
シニアの部	優勝	浦 良一(沢田工業)	104	30.0	74.0
	2位	辻 啓一(県協会)	104	30.0	74.0
	3位	高藤 一男(高藤建設)	96	21.6	74.4
	4位	中山 泰夫(高田組)	99	24.0	75.0
	5位	福居 進(石川建設)	104	28.8	75.2
ベストグロス賞	1位	山本 重雄(東南建設)	76		
	2位	松栄 武信(北陸地建)	81		
	3位	北野晴比古(石川舗道)	85		

ドラゴン賞	松栄 武信
	竹中 徹雄 2
	橋本 和宏
	石附 忠孝 2
	熊本 市郎
清水廉太郎	
ドラタン賞 (シニアの部)	長坂 知通
	小倉 淳
	竹林 耿郎

ニアピン賞	西島 義浩
	小倉 淳
	山本 重雄
	寺井 誠
	石附 忠孝
	細川外茂治
	大江 純生
	里谷 光蔵



小倉会長挨拶



一般の部優勝 坂井 繁 氏



平櫻副会長閉会挨拶

女性職員対象の現場見学会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)は、10月10日(木)に女性職員を対象とした現場見学会を開催した。見学会は、今年8月に開催した第3回女性技術者の集いの中で、「他社の建設現場で女性がどのような働き方をしているか知りたい」といった要望が強くあがっていたことから今回の開催となった。当日は、県建設業協会及び地区協会会員企業に所属する女性職員29名、協会関係者6名、計35名が参加した。

見学会は、下記2か所の現場を訪問した。

「金沢港クルーズターミナル」(施工者：豊蔵・北川・高田・ムラジJV)

「金沢外環状道路海側幹線 浅野川橋梁上部工」(施工者：ピーエス三菱)

参加者は始めに、金沢港クルーズターミナル建設現場を訪れ、現場事務所にて施工を担当している現場責任者で(株)豊蔵組の手塚博士氏、女性の技術者で北川ヒューテック(株)の石本春花氏より金沢港機能強化整備事業と建設工事の概要及び進捗状況の説明を受けた。また、女性で設計を担当した浦建築研究所の寺田千恵氏より、日本海の白波をイメージした屋根や、港と海が眺望できる大型ガラスの設置など設計上の工夫について紹介を受けた。その後、現場に移動し、現場担当者の説明を受けながら1階から3階までを見学した。

見学後には現場事務所に戻り、質疑応答が行われた。その中で石本氏より、重量1.9トンの大型ガラスの設置では、ガラスをレッカーで持ち上げ、最後は人力での嵌め込み作業となったことなどの苦労した話も聞くことができた。

続いて、金沢外環状道路海側幹線工事現場に移動し、県央土木総合事務所 外環状道路建設課の田中進一郎課長より海側幹線の事業概要および事業効果について説明を受けた。その後、建設中の浅野川橋梁の上部工を見学した。

女性職員を対象とした現場見学会は初めての試みだったが、見学会後に参加者にご協力いただいたアンケートでは、「普段見ることができない現場を見学できた」「現場を見る機会がないので楽しかった」など参加者全員より好評をいただいた。またその中で、定期的な開催を希望する声が多くあがったことから、今後こういった活動を継続して開催していきたい。



石川県土木部防災訓練への参加

令和元年度石川県土木部防災訓練が、10月30日(水)午前7時から県内一円で実施された。訓練は、珠洲市と能登町で震度6弱、他の市町でも震度6強の地震が起き津波が発生したとの想定に基づき行われ、県庁内に土木部災害対策室が設置されるとともに、出先事務所や関係機関から道路、河川などの被災情報を収集するなど、災害発生時の初動体制の確保と情報伝達の手順を確認した。当協会並びに各地区建設業協会(組合)では、災害時における応援協定に基づき、施設点検パトロール訓練及び建設工事現場の点検訓練、並びに道路啓開訓練に参加した。



初動対応に当たる協会員
(一社)白山野々市建設業協会

委員会の開催

土木委員会

工事現地検討会班長会議（前期）の開催

土木委員会安全対策部会(部会長 林 登良夫)は、去る10月1日(火)に石川県建設総合センター会議室において、安全対策部会の正副部会長と工事現地検討会班長による会議を開催した。この班長会議は、11月上旬に実施する「令和元年度工事現地検討会」に向けての関係機関等との調整や対応すべき事項について、事務局から説明のあと審議が行われた。



主な議題内容・審議事項は以下のとおり。

班長の任命

- ・安全対策正副部会長会議(9月18日開催)で推薦をされた各班長を部会長から任命した。

工事現地検討会の実施日について

- ・白山野々市班、県央班、中能登班の実施日を11月13日(水)とし、南加賀班、奥能登班の実施日を11月20日(水)に決定した。

工事現地検討会の各班構成員選出について

- ・各班構成員(52名)を選出し、了承した。

工事現地検討会の実施要領について

- ・班長の役割、対象工事の選定方法、関係機関との調整など、工事現地検討会実施に向けての必要事項を確認した。

実施に向けてのスケジュールについて

- ・工事現地検討会の実施に向けて、対応すべきスケジュール内容を確認した。

班長会議（後期）の開催日程について

- ・12月中旬に班長会議（後期）を開催することとした。

役員会の開催

土木委員会(委員長 竹腰勇ノ介)は、去る10月21日(月)に石川県建設総合センター会議室において、第3回役員会を開催した。今回の役員会は11月29日(金)に行う「石川県土木部との意見交換会」の提案課題について審議を行うものである。会議では、総務部会・懇話会合同会議(9月25日開催)で課題抽出された県土木部発注工事に関する議題についてテーマ毎に審議を行い、14議題を県土木部との意見交換会の提案議題として選定した。



主な議題及び審議内容は以下のとおり。

入札契約関係	3議題(選定)	総合評価関係	3議題(選定)
設計積算関係	4議題(選定)	施工関係	1議題(選定)
監督検査関係	1議題(選定)	その他	2議題(選定)

建築委員会

研修会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、10月15日（火）「東京国立近代美術館工芸館移転整備工事」の視察研修を委員17名の参加で開催した。

県営繕課の小松直樹主幹から工事概要の説明を受けたのち、現場の見学を行った。

工芸館は、東京にある国立近代美術館工芸館を金沢に移転するもので、日本海側初の国立美術館（工芸館）となる。建物は、県立能楽堂の横にあった国の登録有形文化財である旧陸軍第九師団司令部庁舎と旧陸軍金沢借行社を活用するとともに、収蔵庫や事務部門などを鉄筋コンクリートや鉄骨造で補って整備している。

異種構造の混合建築物であるため、建築基準法の構造判定では大変苦労しており、また、第九師団司令部庁舎と借行社は一度解体して組みなおしているが、文化財であることからなるべく多くの部材を再使用するため、構造的に必要な強度があるか木材のヤング係数測定を全数調査のうえ、一定以上の強度を持つ部材のみを再使用しており、さらに、建物の耐震強度を高めるためCLT部材や構造用合板で補強していることなどの説明を受けた。

解体工事を進める中で、外壁の色が現在使用されているものと違うこと、柱に残された痕跡から下見板が巾30cmのものが使用されていたこと、柱材の寸法が残された図面より細かったこと、屋根に使用された瓦が平成2年に吹き替えられていたことなどの新たな事実も判明し、その都度、設計変更や文化庁との協議が必要で、監理者、施工者ともに大変苦労した難工事であった。

また、この建物は美術館として使用されることから、化学物質の発生を嫌うため、木材から発生するギ酸やコンクリートから発生するアンモニア濃度を下げるときの換気やアンモニア吸着シートを使用していることなどの説明も受けた。

建物は外装工事がほぼ終了し、内装工事が急ピッチで進められている状況であった。

美術館、文化財に関わる建築物の設計・監理、施工に係る機微に触れることのできた有意義な研修会となった



加賀地域合同建築委員会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、10月18日（金）に、（一社）白山野々市建設業協会にて、加賀地域合同建築委員会を開催した。県土木部の畝本秀一参与、熊田康也営繕課長、三谷浩二郎建築住宅課長の3名を迎えて、加賀地区の各建設業協会の建築部会員（32名）と県建設業協会の役員（11名）の計46名による、意見交換会となった。

県協会の橋本委員長、県の畝本参与、白山野々市協会の北野一郎会長の挨拶の後、県当局より、今年度の県発注建築工事の方針及び建築住宅行政・営繕工事等の説明を受けた。

引き続き、各地区協会より県発注者に対し、次の議題を提案した。

- 1) 工期の設定について
- 2) 外壁改修工事において適正な設計変更をについて
- 3) 設計単価について
- 4) 新担い手3法改正による工期の適正化について
- 5) 学校改修工事の早めの発注と工期への配慮について
- 6) 産業廃棄物処分費について
- 7) 外国人労働者について
- 8) 学校改修工事における部分引き渡しについて
- 9) 設計図面の齟齬について
- 10) 書類の簡素化について
- 11) 約物の計上について
- 12) 予定価格の精査について

これらの提案・要望に、県担当者よりそれぞれ詳細な回答を頂き、和やかに意見交換を終え、岡 昌弘副委員長の挨拶で閉会となった。



能登地域合同建築委員会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、10月28日(月)に、(一社)羽咋郡市建設業協会にて、能登地域合同建築委員会を開催した。県土木部の畝本秀一参与、三谷浩二郎建築住宅課長、熊田康也営繕課課長を迎えて、能登地区の各建設業協会の建築部会員（24名）と県建設業協会の役員（11名）の計38名による意見交換会となった。

県協会の橋本建築委員長、県の畝本参与、羽咋郡市協会の寺井 誠建築部会長の挨拶の後、県より、今年度の建築住宅行政・営繕工事等について説明を受け、建築基準法の改正、耐震改修工事の補助制度、令和元年度の主な営繕工事、営繕工事における注意点等が明らかにされた。引き続き、各地区協会より県発注者に対し、次の様な議題を提案した。

- 1) 休暇要請（休暇指示）について
- 2) 外壁改修工事における石綿含有建築物仕上塗材除去工事について
- 3) 材料搬入用荷揚げステージについて
- 4) 鉄骨建て方時の落下防止ネット、スタクション、親綱等について
- 5) 解体工事の廃材運搬費について
- 6) 気象条件に左右される工事の経費計上及び工期設定について
- 7) 翌年度にわたる工事の工期設定について

これらの提案・要望に、県担当者よりそれぞれ詳細な回答を頂き、和やかに意見交換を終え、岡 昌弘副委員長の挨拶で閉会となった。



環境・住宅部会研修会の開催

環境・住宅部会（部会長 水内健之）は、10月30日(水)に「名古屋城本丸御殿」の視察研修会を部会員4名と建築委員7名、事務局1名の計12名の参加で開催した。

名古屋城の本丸御殿は、天下普請で徳川家康が建てた書院造の建物で、昭和20年に空襲で全焼したものを平成21年度から平成30年度にかけて復元された。平成25年度にも第1期工事で完成した玄関・表書院部分を視察しているが、今回、第2期工事の対面所部分及び第3期工事の上洛殿部分が完成したので視察することとした。熱田神宮で安全祈願の参拝をしたのち名古屋城へ向った。

ボランティアガイドの説明を受けながら本丸御殿の視察を行ったが、本丸御殿の部屋はそれぞれに格式があり、建物の奥の方に行くに従い格式が上がっていく造りになっており、天井は竿縁天井から格天井さらに小組格天井、折上げ格天井、二重折上げ格天井へと、障壁画も走獣から花鳥、人物、山水へと、鍔金物ものの釘隠しなどもそれぞれ凝った装飾の造りへと格式に応じて変化しているとの説明を受けた。御殿を華やかに彩るために彫刻欄間が取り付けられているが、彫刻は富山の井波彫刻であり色鮮やかに彩色されており、表と裏で絵柄も異なることの説明も受けた。また、畳のへりには九条紋と呼ばれる小紋のへりを使用しているが左右の畳のへりの文様がどこから見ても左右対称となる様、地元の畳屋さんが夜なべをして苦労していたことも聞いた。

名古屋城は空襲で焼失する前に国宝第1号の指定を受けており、膨大な量の実測図面や写真が残されており、また、襖等の障壁画も事前に取り外されて保管されていたことから見事に忠実に復元できたものである。金沢城の整備が進み、二の丸御殿の復元を前提とした調査が進んでいる中、本格的な御殿建築を知る有意義な視察研修会となった。



土地改良委員会

第2回技術検討部会の開催

令和元年度第2回土地改良委員会技術検討部会（部会長 小柳 誠）が、10月25日（金）午前10時30分から石川県建設総合センター401会議室で、小柳部会長以下15名の部会員と事務局出席のもと開催された。

冒頭、小柳部会長より開会挨拶の後、事務局より「県農林水産部との意見交換会」と「現場研修会」の二つの議題について提案、審議された。

県農林水産部との意見交換会については、8月開催の第1回技術検討部会で審議し9月4日（水）に県農林水産部へ提出した県への要望・質問事項を確認し、11月7日（木）午後1時30分から、金沢ニューグランドホテルで、北出一郎県農林水産部技術管理室長以下4名の幹部の出席のもと開催することとした。

また、現場研修会については、1級河川を締切っての大規模工事であり平成25年度に着工し今年度に完成する白山頭首工とし、本委員会全員から参加を募ることとした。

最後に、当委員会の役員会が11～12月に予定する北陸農政局長及び県農林水産部長等への施策提案の計画状況の報告と県豚コレラ対策で当協会が実施する埋却に係る実施体制等の備えについて報告がなされ閉会した。



第2回役員会の開催

令和元年度第2回目の役員会が、10月31日（木）石川県建設総合センター401会議室において真柄卓司委員長以下13名の役員と事務局出席のもと開催された。冒頭、委員長の挨拶の後、次の議題を審議した。

事業計画については、「北陸農政局長及び県農林水産部長等への要望」の提案書（素案）の内容について審議を行い、11月の北陸農政局長への要望を皮切りに、国営事業所長、県農林水産部長、各農林総合事務所長へ伺うこととした。

委員会全体会議については、内容等全般の確認を行い、開催時間を午前10時30分から午後1時30分に変更し、来年3月下旬に開催することとした。また、新規入会希望が1社あり、満場一致で入会が承認された。

最後に、報告事項として、豚コレラ対策及びこれまで実施した主な事業「北陸農政局長への施策提案（7月29日）」等の状況報告を行い閉会した。



広報・研修委員会

企画部会の開催

広報・研修委員会の企画部会（部会長 高田直人）は、10月17日（木）午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭、高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について審議・報告を行った。

- 1 協会報11月号について
事務局説明の編集計画が承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
・「建設業経営講習会」の開催結果
・令和2年度から測量コンテスト会場の変更
について報告がなされた。



建設青年委員会

いしかわのこどもみらいキャンペーン「はだしの王国」に参加

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、建設業をPRする全国建設青年会議の「全国建設青年の日」の活動として、石川県土木部と共同で、10月14日(月・祝)奥卯辰山健民公園で開催された「はだしの王国」に参加した。

「わくわく！土木土木（どきどき）！たいけん」と題し、土木に関するクイズやミニ建機試乗体験、今年度から初めて高所作業車試乗体験を行い、子供たちに建設業の楽しさや面白さを体験してもらった。

当日はあいにくの雨にも関わらず、建設業のブースには多くの子供たちや家族連れが訪れ、皆楽しそうに見学や体験をし、建設業に対する認識を新たに深めた様子だった。



雇用対策特別委員会

現場見学会の開催（金沢工業大学）

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、9月20日(金)金沢工業大学の工学部環境土木工学科の学生及び同大学院生の23名を対象に、白山市白峰の「赤岩砂防堰堤改築工事」、「市ノ瀬砂防堰堤改築工事」の2か所で現場見学会を開催した。

金沢河川国道事務所白峰砂防出張所の稲垣裕之所長から、白山砂防の歴史や地滑りの概要、事業の経緯について説明を受けた後、上記2か所の砂防堰堤の施工を担当した(株)風組の担当者から、ICTを活用した砂防施工について説明を受け、その後二班に分かれてドローンを用いた空中写真測量とVRを体験した。市ノ瀬砂防堰堤では、全国的にも珍しいアンカー工法での堰堤補強工事について学んだ。



建設技術研修所

「建設業経営講習会」の開催

10月11日(金)石川県建設総合センター7階大ホールにおいて、東日本建設業保証(株)、石川県土木施工管理技士会との共催で建設業経営講習会を開催した。

講習会には、主に技術系社員61名が参加した。冒頭、東日本保証(株)の安藤路也石川支店長のご挨拶の後、(株)建設経営サービスの黒図茂雄氏から「実践！工程表の作成と工程管理 ～ネットワーク工程表の作成方法と活用～」と題し講演をいただいた。

講習では、行程計画作成の基本から、ネットワーク工程表の作成と活用などを解説いただき、より良い品質、安全、原価を確保できる工程管理が実践できるようになる貴重なお話を聞くことができた。終了後のアンケートでは、ほとんどの参加者から「大変参考になった。」「聞きやすく分かりやすい講習でした。」などと高評価をいただき、大変有意義な講習会となった。



黒図茂雄氏の講習

「登録解体工事講習会」の開催

「登録解体工事講習会」を10月28日(月)午後0時20分より石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催した。

講習会は、平成28年6月1日の改正建設業法の施行に伴い、建設業許可の業種区分として「解体工事業」が新設され、従前は、「とび・土木工事業」の許可で解体工事を施工していたものが、改正後は、原則「解体工事業」の許可を取得した企業が施工することとなる。また、上記改正に伴い、解体工事に係る営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者の資格要件が建設業法施行規則等で定められ、解体工事の営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者となるためには、「登録解体工事講習」の受講又は解体工事に係る実務経験が必要となる。本講習は、(一財)全国建設研修センターの協賛で実施しており今回で6回目となる。当日は74名が受講した。



石川県建設産業連合会だより

石川県建設生産システム合理化推進会議の開催

石川県建設産業連合会(会長 小倉 淳)は、10月29日(火)午後1時から、ホテル金沢において、石川県建設生産システム合理化推進会議を開催した。会議は、国土交通省、北陸地方整備局、金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、(一財)建設業振興基金から9名のアドバイザーを迎え、建設キャリアアップシステムについて意見交換を行った。

冒頭、小倉会長が「建設産業が抱える喫緊の課題は、将来の担い手確保に向けた働き方改革の促進と生産性の向上である。本年4月の改正労働基準法の施行、建設キャリアアップシステムの運用、特定技能外国人の受け入れの新たな枠組みに加え、6月には新・担い手3法が成立する等、建設業界を取り巻く環境は大きく変化している。建産連としても、社会資本整備の担い手集団として希望と活力のある建設産業を継続できるよう、働き方改革の促進、生産性向上にしっかりと取り組んでいく必要がある。」と挨拶、続いて、佐藤研一北陸地方整備局建政部長が「本日は、ご要望を頂きこのような機会を設けさせて頂いた。皆様からのご意見、ご要望を直にお聞きしながら、今後、キャリアアップシステムの適切な運用や円滑な普及に役立てていきたい。」と挨拶した。

引き続き、小笠原憲一 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長から「建設キャリアアップシステムの構築と政策展開」及び「建設分野の外国人材の受け入れについて」、黒田憲司(一財)建設業振興基金専務理事から「建設キャリアアップシステムの概要、登録方法等について」それぞれ情報提供を頂いた。

その後の意見交換会では、建産連側から、システムの情報開示による技能者の引き抜を危惧する意見が出されたのに対し、国土交通省側が情報開示の範囲等について持ち帰って検討したいとの見解を示すなど、活発な意見交換会となった。



石川県土木施工管理技士会だより

JCM セミナーの開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、10月9日(水)石川県建設総合センター5階第一研修室においてJCM セミナーを開催した。

この講習会は、「施工事例」から学ぶ創意工夫をテーマにケイヨーエンジニアリング事務所代表 堺 逸郎氏が講義を行った。講習を受講することによりCPDSが4ユニット付与される。今回は21名の参加があり、施工事例を基にした講義のため分かりやすく、出席者は集中して受講していた。



国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和元年度
「高校生の作文コンクール」入選作品の紹介

佳作賞

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会主催の令和元年度「高校生の作文コンクール」で、県立羽咋工業高等学校建設造形科2年前田優希さんの応募作品「建設業への道」が「佳作」に選ばれ、10月30日(水) 同校を訪れた国土交通省北陸地方整備局の佐藤研一建政部長から前田さんに表彰状が贈られた。



写真 左から
佐藤研一建政部長、前田優希さん、稲垣 裕校長

「建設業への道」

石川県立羽咋工業高等学校 建設造形科 2年 前田優希

十七歳の私は今、建設業、土木について学んでいる。今まさに、夢を叶えるための学習の真っ最中だ。

私は将来、建設業に就きたいと思っている。私がそう思った理由は二つある。

一つ目は、友達の父が私たちの中学校を建てて下さり、その素晴らしさに感動したことだ。

二つ目は、災害の際、建物が多くの人々の命を救っているということだ。

「建設業」という職があるから、日々の生活が成り立っていると思う。だから、私は建設業に憧れがあり、夢となっている。今の時代は、すべて機械任せで終わっている仕事がある。しかし、建設業は機械だけではなく、人間の力が必要とされると思う。私も、建物を建てて人々を感動させたいし、人の命を守りたい。まだ十七歳ではあるが、建設業について、もっと知りたいと思う。橋、道路、施設、家など、生活になくてはならないものを

仲間と協力して作り上げたら、どれほどの達成感だろうか。

私は、建設する「意図」を考えながら建設業に携わりたい。なんのために建てるのか、誰のために建てるのか、などを常に考えて建設することで、より良い建造物が完成すると思うからだ。建設業に憧れながら建設について学ぶことはとても楽しい。難しいこともたくさんあるが、図面が完成した時や、資格を取得できた時は、達成感があり、もっと挑戦したい！という気持ちになる。

将来は、一人の建設業者として多くの構造物を建て、地域に貢献し、周りから認められるような一人前の建設業者になりたい。そのために、今から人一倍勉強に専念するほか、人とのコミュニケーションを大切にして、地域社会に慣れていく必要があると思う。そのようなことから、私の「建設業」という道が開かれ、夢へと近づく第一歩になると思う。

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和元年分）

令和元年9月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	8	(15)28	9	(15)45	(11)54	457
小松監督署	13	(4)7	2	(4)22	(6)21	135
七尾監督署	4	(5)10	4	(5)18	(5)17	89
穴水監督署	5	(1)2	1	(1)8	(6)9	42
計	30	(25)47	16	(25)93	(28)101	723
前年同期	22	(28)53	26	(28)101		867

()内は木建工事 内は死亡者数

令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
7月分	224	240	93.3%	1,454	1,832	79.4%	1,678	2,072	81.0%
8月分	606	429	141.3%	2,428	1,850	131.2%	3,034	2,279	133.1%
9月分	167	232	72.0%	3,140	3,316	94.7%	3,307	3,548	93.2%
年度累計	1,908	1,816	105.1%	11,761	15,002	78.4%	13,669	16,818	81.3%
29年度累計		2,952	64.6%		18,552	63.4%		21,504	63.6%
28年度累計		2,695	70.8%		11,491	102.3%		14,186	96.4%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
7月分	5,016	5,147	97.5%	1,267	610	207.7%	6,283	5,757	109.1%
8月分	4,761	3,699	128.7%	656	1,299	50.5%	5,417	4,998	108.4%
9月分	4,688	5,066	92.5%	564	2,871	19.6%	5,252	7,937	66.2%
年度累計	26,226	21,085	124.4%	10,050	7,166	140.2%	36,276	28,251	128.4%
29年度累計		18,564	141.3%		6,385	157.4%		24,949	145.4%
28年度累計		27,508	95.3%		9,622	104.4%		37,130	97.7%

合 計（民間＋官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%
7月分	7,961	7,829	101.7%
8月分	8,451	7,277	116.1%
9月分	8,559	11,485	74.5%

	令和元年度	平成30年度	%
年度累計	49,945	45,069	110.8%
29年度累計		46,453	107.5%
28年度累計		51,316	97.3%

会員消息

今回届け出があったのは次の2件でした。
変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
宮下建設(株)	越渡 伸廣	山下 勇人	令和元年10月10日

退会

会社名	退会年月日
(株)田村	令和元年9月30日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和元年11月行事予定

- 11月 1日(金) ドローン講習会(第11回)
- 2日(土) ドローン講習会(第11回) (金沢市七曲地内)
- 5日(火) 東日本建設業保証(株) 参与会 (東京 パレスホテル東京) 建設資材対策北陸地方連絡会(北陸地方整備局)
- 6日(水) 全建 全国建設労働問題連絡協議会 (東京 浜離宮建設プラザ)
- 7日(木) 正副会長会議 国土交通省との意見交換会 (石川県庁) 県農林水産部との意見交換会 (金沢ニューグランドホテル)
- 12日(火) 市町要望 (白山・野々市地区)
- 13日(水) 土木委員会 現地検討会(3地区) (白山野々市、県央、中能登地区) 市町要望 (小松・能美地区) 全国建産連 専門工事業委員会 (東京 建設業振興基金) 家畜伝染病防疫訓練 (地場産業振興センター)
- 14日(木) 市町要望 (河北・加賀地区) 青年委員会 講演会 (金沢東急ホテル) 法令遵守・キャリアアップシステム説明会 建退共 中部ブロック事務担当者会議(~15日) (岐阜 ホテルグランヴェール岐阜)
- 15日(金) 羽咋工業高校意見交換会事前打合せ (羽咋都市協会) 石川県産業教育振興会研究協議会 (金沢商業高等学校) 石川県知事表彰式 (石川県庁) 地区協会合同研修会 (七尾市)
- 18日(月) 会報編集委員会
- 19日(火) 広報・研修委員会 企画部会
- 20日(水) 土木委員会 現地検討会(2地区) (南加賀、奥能登地区) 土地改良委員会 現場研修会(予備日27日) (白山頭首工) 全建 全国会長会議 (東京 経団連会館)
- 21日(木) 農政局長及び局事業所長への施策提案 (農政局及び局事業所) 全建 技術研究発表会 (東京 鉄鋼会館)
- 22日(金) 日刊建設通信新聞インタビュー 門前高校 高校生出前講座 (門前高等学校) 土木委員会 懇話会と金沢河川国道事務所との意見交換会 (金沢市内) 石川県議会議員との懇談会 (金城楼)
- 25日(月) 保証事業石川協議会定例会 (KKR ホテル金沢) 事務局打合せ
- 26日(火) 市町要望(~27日) (能登地区) 建築委員会 整備局営繕部との建築工事懇談会 (ホテル日航金沢) 石川県土木施工管理技士会 役員会 (ホテル日航金沢) 県農林水産部長への施策提案 (石川県庁)
- 27日(水) 全建協連 専務・事務局長会議 (東京 霞が関ビルディング)

- 29日(金) 県央・石川農林への施策提案 (県央・石川農林総合事務所) 交通安全県民大会 (石川県地場産業振興センター) 土木委員会 役員会 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ) 土木委員会 全体会議(県土木部との意見交換会) (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)

令和元年12月以降の行事予定

- 12月 2日(月) 南加賀農林 施策提案(南加賀農林総合事務所)
- 3日(火) 正副会長会議
- 4日(水) 全国建産連 専門工事業全国会議 (東京 建設業振興基金) 石川県景観審議会 奥能登・中能登農林への施策提案 (奥能登・中能登農林総合事務所) 建設業振興基金 研修会 (東京 建設業振興基金)
- 10日(火) 防災防 金沢大会成功プロジェクト委員会 (ホテル金沢)
- 12日(木) 全国技士会連合会 事務局長及び実務担当者会議 (東京 アルカディア市ヶ谷)
- 13日(金) 羽咋工業高校生との意見交換会 (羽咋工業高等学校)
- 23日(月) 協会・組合 理事会 (金沢ニューグランドホテル) 知事懇談会 (金沢ニューグランドホテル)
- 令和2年 1月17日(金) 全国建産連 協議員会
- 21日(火) 協会・組合合同新年会 (ホテル日航金沢)
- 24日(金) 土木委員会 新年会 (和倉温泉)
- 2月 7日(金) 北陸地方整備局との意見交換会(ホテル日航金沢)
- 25日(火) 建設業税財務講習会 北陸建設業協会事務局会議 (福井) 27日(木) 北陸地方整備局と北陸3県土木施工管理技士会との意見交換 (新潟 アートホテル新潟駅前)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行 (毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 11月 1日(金) 青年：技術防災セクション
- 5日(火) 役員：視察研修
青年：情報発信セクション
- 12日(火) 役員：緑化基金への寄付贈呈式
役員：金沢市との意見交換会
役員：植樹及び清掃活動
- 14日(木) 記念事業推進検討部会
- 15日(金) 土木：役員会
青年：デザインアワード2次審査
青年：市工生徒との意見交換会 建築科
- 27日(水) 第24回ボウリング大会
- 28日(木) 建築：住宅委員会視察研修
土木：全体会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 11月 6日(水) 小松能美建設業協会との意見交換会
- 8日(金) 建友グリーン会
- 13日(水) 建災防加賀分会役員視察研修
- 14日(木) 建設産業市町要望

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 11月 5日(火) 監理技術者講習
- 6日(水) 加賀協会との意見交換会
- 14日(木) 献血活動
- 15日(金) 土木技術部会研修懇談会
- 20日(水) けんせつ未来人交流会

《お知らせ》

- 12月17日(火) 小松工業高校2年生へのガイダンス

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 11月 6日(水) 白山市建築設計監理協会と意見交換会
- 11日(月) 白山市議会と意見交換会
- 12日(火) 建設産業市町要望
- 13日(水) 工事現場検討会

- 14日(木) 暴力団等排除推進会議研修会
- 25日(月) 白山市、野々市市選出県議と意見交換会
- 26日(火) 石川農林安全協議会工事現場パトロール
- 28日(木) 建築工事現場安全パトロール
親睦ボウリング大会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 11月14日(木) 県協会組合合同市町要望
(かほく市、内灘町、津幡町)

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 11月 6日(水) 農林工事安全パトロール
- 8日(金) 除雪車ふれあい教室 & 除雪機械試乗会
(羽咋土木事務所)
- 26日(火) 建設産業市町要望

《お知らせ》

- 「小学生の見た建設の絵」入賞作品展示
- 11月 6日(水) コスモアイル羽咋図書館前ギャラリー(～11日)
- 12日(火) 志賀町文化ホール(1階ホール)(～18日)
- 19日(火) 富来活性化センター町民ホール(～25日)

(一社)七尾鹿島建設業協会

《お知らせ》

- 12月 4日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 11月 5日(火) 監理技術者講習会
- 20日(水) 県協会土木委員会 工事現地検討会
(奥能登土木総合事務所管内)
- 21日(木) 労働災害防止安全パトロール
(奥能登農林総合事務所管内)
- 26日(火) 建設産業市町要望(～27日)
- 28日(木) 正副会長会議、理事会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 11月 6日(水) 視察研修旅行(協会・組合合同)(～8日)

関係機関からのお知らせ

障害のある人もない人も共に暮らしやすい 共生社会の実現のために

「障害のある人もない人も共に暮らしやすい石川県づくり条例」
(共生社会づくり条例)が令和元年10月より施行されました！

障害を理由とする差別を解消し、障害のある人もない人も相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会をつくることを目指しています。

県民、事業者のみなさまへ。



不当な差別的取扱い

→ 禁止



合理的配慮の提供

→ 努力義務



ホームページ



石川県健康福祉部障害保健福祉課
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL:076-225-1428 FAX:076-225-1429

E-mail:shofuku2@pref.ishikawa.lg.jp

石川県 共生社会づくり



石川県最低賃金が上げられます

石川県最低賃金は、現在、時給806円ですが、今般、26円引上げて832円に改正されます。

令和元年10月2日に最低賃金が改正されることから、**その前に本助成金を活用して業務の効率化を図り、最低賃金引上げに対応しましょう。**

業務改善助成金とは

事業場内最低賃金（事業場内で最も低い賃金）を30円以上引き上げ、設備投資（機械設備、POSシステム等の導入）などを行った場合に、その費用の一部を助成します。



- ・飲食業 ⇒ 食器洗浄機、スチームコンベクションオーブン、オーダーエントリーシステム
- ・建設業 ⇒ 工事現場用清掃機器、ミニショベル
- ・清掃業 ⇒ 自動床洗浄機、軽量コードレスのウエットバキューム
- ・自動車整備業 ⇒ ヘッドライトテスター、門型リフト、作業スペースの増設
- ・その他・・・業務管理システム（出退勤管理）、販売管理ソフト（見積・請求書発行）

「業務改善助成金」の概要

助成対象事業場	助成率	引上げる労働者数	助成上限額
石川県内の事業場で ①事業場内最低賃金が 832～862円 及び ②事業場規模30人以下	3/4 生産性要件を 満たした場合は 4/5 ^(※)	1～3人	50万円
		4～6人	70万円
		7人以上	100万円

(※) ここでいう「生産性」とは、企業の決算書類から算出した、労働者1人当たりの付加価値をいいます。助成金の支給申請時の直近の決算書類に基づく生産性と、その3年度前の決算書類に基づく生産性を比較し、伸び率が一定水準を超えている場合等に、加算して支給されます

●支給までの流れ



問合せ先

- ◇助成金について・・・石川労働局 雇用環境・均等室 【電話】076-265-4429
- ◇最低賃金について・・・石川労働局 労働基準部賃金室 【電話】076-265-4425